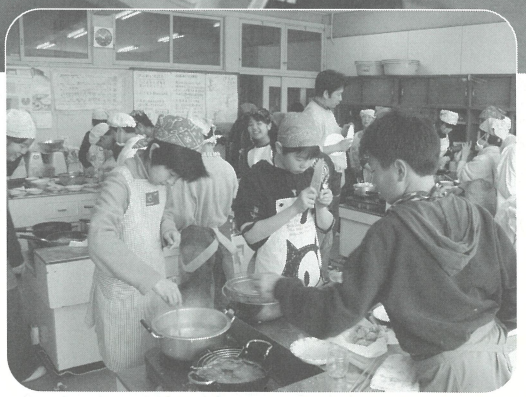
きょなん

町報　第417号
発行：鋸　南　町
編集：秘書広報課
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

4
2003





ちょっと、つまみ食い
「うん、おいしい～」
《きょなんの駅弁づくり》

勝山小学校の5年生38名が「きょなんの駅弁」づくりに挑戦しました。

総合の授業で自分たちの住む鋸南町についての歴史や伝説、産物や自慢を調べたものを、形で表現しようと今回の“駅弁づくり”になりました。7つの班に分かれ、器の形に水仙をあしらったものや、源頼朝が竜島に上陸の際、踏んで怪我をしたとの伝説があるサザエを使った炊き込みご飯、ご飯を浮島の形にした物など、子どもたちの考えた色とりどりの「きょなんの駅弁」が出来上がりました。完成した駅弁は、参観に訪れた保護者たちといっしょに楽しく食されました。

（学年は3月時点）

きょなんフォトニュース



町報きょなん
2003年4月号

●フォトニュース
声のバトンタッチ
家庭教育通信　すくすく
健康通信
歴史資料館
わんぱく登場
生涯学習
B＆Gニュース
桜だより
あの子もこの子もきょなんの子

平成14年度鋸南町表彰

功労表彰6名・善行表彰1名を表彰

平成14年度鋸南町表彰が去る3月31日に行われ、功労・善行者7名に対し、白石町長から表彰状が授与されました。受賞された方々の功績は次のとおりです。（敬称略）



功労表彰

《民生委員・児童委員》

重田昭夫（75歳・大帷子）

平成元年12月民生委員・児童委員に委嘱され、以来12年の長きに亘り、担当地域住民の良き相談相手となり、福祉向上に尽力された。平成7年12月に同協議会評議員に就任し、協議会の充実発展にも貢献された。

《結婚相談委員会委員》

福原　廣（75歳・中佐久間）

平成3年4月結婚相談委員会委員に任命され、以来12年の長きに亘り、農業後継者の確保と健全育成を図るため、配偶者対策事業に熱意を持って取り組み、結婚相談機能の推進に尽力されている。

《食生活改善協議会理事》

山口せつ子（71歳・岩井袋）

昭和54年4月栄養改善協議会へ入会し、監事を経て昭和62年4月に理事に就任した。地域住民のよき相談相手となり、また地区内の食生活伝達活動に積極的に取り組み、23年の長きに亘り、食生活改善事業の推進に尽力されている。

《食生活改善協議会副会長》

小林あき子（71歳・下佐久間）

昭和54年4月栄養改善協議会へ入会し、会計・監事・理事を歴任、平成13年4月に副会長に就任した。地域住民のよき相談相手となり、また地区内の食生活伝達活動に積極的に取り組み、23年の長きに亘り、食生活改善事業の推進に尽力されている。

《食生活改善協議会理事》

福岡千鶴子（63歳・竜島）

昭和54年4月栄養改善協議会へ入会し、会計・監事を歴任、昭和62年4月に理事に就任した。地域住民のよき相談相手となり、また地区内の食生活伝達活動に積極的に取り組み、23年の長きに亘り、食生活改善事業の推進に尽力されている。

《観光協会副会長》

江田晃一（60歳・保田）

昭和52年2月に保田観光協会運営委員となり、理事・常任理事と歴任、平成8年1月に副会長に就任した。観光協会役員として積極的に各種イベントを開催し、26年の長きに亘り、観光振興に尽力されている。

善行表彰

《寄付》

菊間幸子（46歳・竜島）

平成14年3月5日勝山小学校等建設寄付金として50万円を寄付。

新入学期の交通事故防止対策実施（4／7～4／16）

水仙まつり写真コンクール入選者決定

今年で8回目を迎える、鋸南町観光協会（真田和市会長）主催による水仙まつり写真コンクール。

3月26日、中央公民館で審査会が開催され、入選作品が決定されました。同コンクールは、1月10日から31日まで開催された水仙まつりの関連行事として行われたもので、今年は町内外から278点もの応募がありました。審査には、主催者のほか横瀬助役をはじめ関係者10名があたり、入選作品31点を選びました。審査の結果、最優秀賞には、浦弘美さん（野田市）の作品「春の訪れ」が選ばれました。

美しい水仙風景の中を散策する観光客を背後から撮影したもので懐かしい日本の情緒を感じさせる作品です。このほか優秀賞2点、入選5点、特別賞23点が選ばれています。なお、入選作品は5月6日（火）から25日（日）までの間、中央公民館ロビーで展示予定です。



最優秀賞作品「春の訪れ」

"花いっぱい事業に強い味方"

鋸南町では財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業補助金により、草刈機を含む景観整備用備品を購入しました。この補助金は宝くじの普及広報を目的としたもので、各備品には補助事業を標記したステッカーが貼られています。今後は町の推進する花いっぱい事業に幅広く活用されるものと期待しています。



購入された草刈機「ハンマーナイフ　モア」

小保田区コミュニティセンター完成

小保田区では、これまでの集会施設の老朽化にともない昨年10月より新たなコミュニティセンターの建設に着手していましたが、2月24日に完成し、本年の3月9日に竣工式を行いました。同センターは木造平屋建、面積104.3㎡（31.6坪）で、昨年完成した江月区コミュニティセンター同様ナマコ壁風の外観となっています。建設費は1,740万円で、事業費の一部には県及び町のコミュニティ施設整備事業補助金が使われています。町ではコミュニティ活動の拠点となる集会施設を毎年1ヶ所程度整備しており、今年は大六区が予定されています。

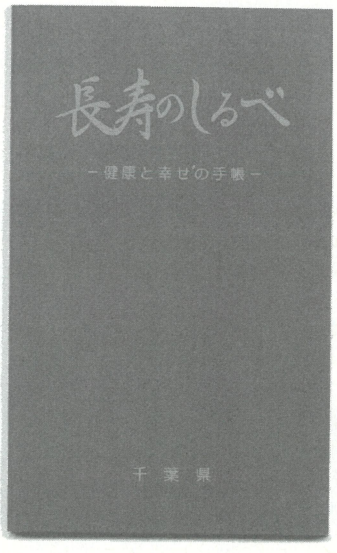


完成した小保田区コミュニティセンター

「長寿のしるべ」の発行廃止のお知らせ

千葉県では、65歳になられた方に対して、健康や暮らしのこと等、高齢者福祉に関することを知っていただくために、冊子「長寿のしるべ」を配布してきましたが、諸般の事情により、平成15年度に65歳になられる方への配布分より発行・配布を廃止いたします。

なお、観光施設等での「長寿のしるべ」提示者への入場料の優待・割引については、平成15年度においても、①既に配布した「長寿のしるべ」の提示、②千葉県内在住の65歳以上と証明できる証明書（健康保険証・運転免許証など）の提示にて、入場料の優待・割引が引き続き受けられます。優遇・割引施設の詳細につきましては、保健福祉課福祉係（☎50-1171）までお問合せください。



「気をつけて　道路にふみだす　その一歩」

春一番！こども桜まつり

3月25日（火）中央公民館を会場に、鋸南町ジュニアリーダーズクラブ主催の「春一番！こども桜まつり」が開催され、町内外から約200名の子どもたちが参加して、春休み初日を楽しみました。

子どもたちの思い出作りを目的に開催した、今回の桜まつりは、高さ10メートルの風船のタワーや、イルミネーションによる幻想的な世界がホールに作られました。また、バルーンアートや輪投げ等5つの体験コーナーが設けられ、子どもたちは各コーナーを回りオリジナルおもちゃを作り楽しみました。まつりの最後には「桜ふぶき」が会場に舞い、集まった子どもたちの心にも、思い出の桜が咲いたと思います。



真剣な眼差しでバルーンアート

町内23箇所で町政報告会を開催

2月3日から3月11日の間、町内23箇所で町政報告会が開催され、夜間にもかかわらず延べ800人のみなさんが出席しました。

報告会では、小笠原総務課長から町の財政状況についての説明の後、白石町長から合併問題についての説明がありました。各会場では熱心な意見交換がおこなわれ、特に合併問題に関する質問が多く出され、関心の高さを伺わせました。この他、負債の将来像を問う声など財政難にからむ質問も出されました。



大勢の方々が集まりました

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

南房カラオケさん　　2万1406円　　社会福祉寄付金

次の方から社会福祉協議会へ善意のご寄付がありました。

飯塚　ふみさん（元　　名）10万円

ボランティア日記

～すいせんの会・なかよし～

すこやかで行われているデイサービスセンターのお手伝いをしている2つのボランティアグループです。両グループとも、利用者の話し相手や洗たく物干し、お風呂あがりのドライヤーかけなど色々なお手伝いをしています。また、納涼祭やクリスマス会などのイベントがあるときは、裏方として活動しています。活動しているメンバーは「利用者と仲良くなれることが何よりうれしいです。」「私たち自身も楽しませてもらっています。」と会について話しています。

《すいせんの会》代表　石井茅子

母子福祉推進委員が、施設ボランティア活動をするときのグループ名が「すいせんの会」です。メンバーは11名で、毎日1～2名がボランティアに汗を流しています。





《なかよし》代表　堀込あや子

個人的に活動していた施設ボランティアの方々7名で結成したボランティアグループです。中には5年以上もデイサービスを手伝ってくれている方もいます。

道路に飛び出すのは止めましょう

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（14）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①12年前仕事から離れ、第一にピアノを習い、次に「生命の貯蓄体操」に入会しました。肩こりと頭痛に悩んでおりましたが現在肩こりは99%治りました。毎週水曜日にＢ＆Ｇに行くのが楽しみです。50歳から85歳の会員ですが、皆年齢を感じさせません。膝、腰の痛い人、いろいろですが、半年位過ぎると見違えるように元気になります。どうぞ、皆さんも見学にいらっしゃいませ。

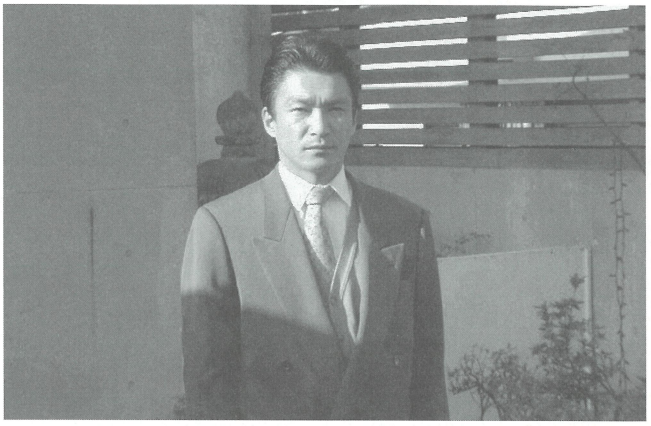
②いつも心に感じることは、「ありがとうございます」の言葉が大人も子どもも少なくなっているように思います。嬉しかったことは70歳を過ぎるとあまりありませんが、2月26日にＢ＆Ｇで健脚度の測定を行いました。結果40cm踏み台昇降は最高点、その他も良い結果でしたので、私もまだ年齢よりは若いと嬉しく思いました。

③息子が東京から帰省する度に「町が寂しくなったね」と言います。昔のような活気を取り戻すよう官民一体となり頑張ってください。



石井栄子さん（田町区・主婦業）

次回は鈴木菊子さん（上佐久間区）へバトンタッチされます。



平田剛久さん（町区・建設業）

①私の仕事は建設業の営業をしておりますが、インフラ整備の進む中、公共事業も減ってまいりまして、かなり厳しい状況になりつつあります。その為当社としても数年前から、従来の枠組みにとらわれぬ新しい発想を取り入れ、研究開発を進めてまいりました。結果、現在は環境事業に伴う新分野での県外各地の仕事にお話をいただき、受注のできる所までくる事ができました。今後もさらなる挑戦に対するスピリッツを失わず、がんばって行きたいと思います。

②女房の古くなった車をようやく新車にしてあげた事で、家族のドライブがより楽しくなりました。

③世の中が多様化していく中で、生活様式もかなり変化がおきていますが、この鋸南町には変わらない自然との共生空間があります。その自然を次世代の子ども達により良い空間として残せるような、自然とふれあい楽しめる事業（整備・教育）の展開を期待しております。

次回は黒川基幸さん（両向区）へバトンタッチされます。

文芸

畑隅に吾が手植えし桜木の
今を盛りに咲き誇り居り
川名富枝

赤や黄と嫁が増しゆくハイビスカスを
日課の如く老い夫と佇つ
塚越君子

新緑のそよげる中にアカシアの
白き花房ともに揺れをり
富永ふみ

初代よりまつりて来たる墓多し
ひとつにせむと幾年を経つ
富永斐子

背戸山の裾あゆみ来て鶯の
初音聞きたり啓蟄の朝
菊間みよ子

亡き夫の好みて食みし山桃梅（ゆすらうめ）
つぶらな赤き実小篭に重し
加藤洋子

目をみはる大岩壁にほとばしる
出合ひの流れ谷川に落つ
池田幸子

おのが言葉にうたへと常に諭されし
師のみ教へは今に忘れず
朝日てい子

信号をきちんと守りましょう

家庭教育通信 すくすく NO.22

「幼児期の躾について」
～後編～

習志野市教育委員会指導主事桑原先生にお話を伺いました。

前二回では、「幼児期に大切にしたいこと」「家庭での躾について」（基本的生活習慣の形成）などについてお話いただしました。今回は、これまでのまとめとしてお話します。

第一回では、保護者との人間関係が子どもの基本的信頼感の確立を左右するといった内容でお話がありました。自然に触れ、感動し、友達と元気良く遊ぶ中で感じる心など、五官（目・耳・鼻・舌・皮膚）を使って五感（視・聴・嗅・味・触）を刺激する遊び、体験を大切にするといった話を中心に伺いました。

第二回では、親の心理や、子どもの心理について考える必要性と、子育ての方法、保護者が身につけなければならない役割についてお話を伺いました。また、子どものことを尊重してあげること、やって見せてあげることなど保護者にとって子育ては本当に簡単なことではないというお話を伺いました。

先生からのお話

●子どもにつまづきが見られた時は→落ちついて内省しましょう。人は人との関係の中で育ちます。自分の育て方を責めたり、原因探しをせずに、家族関係を仕切り直しましょう。

●意欲のある子にするために→誉めて育てましょう。「やればできる」という感覚や自己肯定感を幼い頃から持たせましょう。

●子どもへの話し方三原則→子どもの心は、柔らかく傷つきやすいものです。話の腰を折らないことや、いやみや皮肉を言わないこと。また、子どもを傷つける言葉（けなす・比べる・おどす・決めつける・からかう・約束をやぶる）を言わないよう心掛けましょう。

●保護者もカウンセリングマインドで聞き上手になりましょう。→傾聴…子どもの声を聞き漏らさないよう熱心に聞くことを心掛けましょう。また、自分の心を白紙に、相手の気持ちを理解し受け止めていこうという姿勢で、思い込みや、先読み、説教、説得、批判、意見、押しつけなどにならないようにしましょう。→「共感的繰り返し」話を聞いたら、子どもが使った言葉で繰り返して確認をするようにしましょう。

おわりに

最近では、子どもを可愛く思えない保護者が増えていると聞きます。それが、「幼児虐待」に繋がることが一番危険に思えます。その為にも、親と子や、人と人とが良い関係で生活することが必要です。また、保護者も、家庭内での役割や、子ども同様に生活の中で起きる一コマ一コマを大切にしていかなければいけません。ぜひ、幼児期の子育ての大切さを考えながら子どもと接してみてはいかがでしょうか。

最後に桑原先生が　高橋系吾著フレーベル館「かえるの学校」の中から紹介されました。

心に残る本物の味

幼児期は人生で一番　感覚（視・聴・味・嗅・触）の発達する時である　この時に本当の物を見せ　よい話を聞かせ　なつかしいお袋の味を与え本物の匂いをかがせ　実物にさわらせて身につけさせる　このことを大切にすると　生涯　心に残るものが育てられる。

（教育委員会　生涯学習係）

健康通信

「統合失調症」

統合失調症と言う病名をご存知ですか。これは「精神分裂病」の新しい呼び方です。精神分裂病という名前は「現実と本人の考え方・思いとの間にみられる分裂」に着目して90年前に医学用語として登場しました。しかしあたかも「表と裏に人格が分裂する」ような怖いイメージを与えがちで、この誤解は患者さんや家族を長い間苦めてきました。そこで平成14年に「統合失調症」という新しい名前に変更されました。

統合失調症は脳（神経）のはたらきが関係する病気であるとされ、脳（神経）のはたらきが活発になりすぎて、自動車でいえばエンジンが「オーバーヒート」しているのと同じ状態だといえます。したがって脳が活発になりすぎた状態を鎮めるために薬を用います。最近は効果が高く副作用の少ない新しい薬が相次いで導入されています。

統合失調症は16～40歳位の比較的若い年代に起こりやすくおよそ100人に一人の割合で罹るといわれます。これは、アレルギー・糖尿病・高血圧などと同様のcommon disease（ありふれた病気）の一つであり、決して特殊な病気ではありません。誰にでも起きうる病気といえます。

病気の経過には個人差がありますが、きちんと治療すれば徐々に回復に向かいます。またほかの病気と同じように、早期発見・早期治療が重要で放置したり、治療を中断したりすれば悪化します。

統合失調症にはあきらかな症状がでる（急性期）前に、前触れの状態（前兆期）があります。それは「眠れない」「あせる気持ちが強くなる」等でつらい状態です。多くの場合疲れやストレスがたまっていたり、休みたくてもゆっくり休めず、こころと身体のバランスが大きくくずれている時です。この状態に気づいたらじっくり休んだり、気分転換やストレス解消をしましょう。もし「音や気配に敏感になる」「混乱する」など症状が進行するようなら精神科・心療内科などに早く受診しましょう。

（保健福祉課　保健係）

青信号でも左右の安全を確かめましょう

歴史資料館

鋸南町の昔の風景2

●連載130

失われた風景

前回に引き続き、鋸南町の昭和初期の風景写真を、当時の観光絵はがきから紹介します。今回は、保田の風景です。

まずは、吉浜の日陰（ひかげ）付近。現在は中央公民館、資料館、オドヤなどが建つ埋め立て地となっている場所です。埋め立てる前は岩礁でした。妙本寺裏山のすそをぐるっと回るように道がカーブしています。

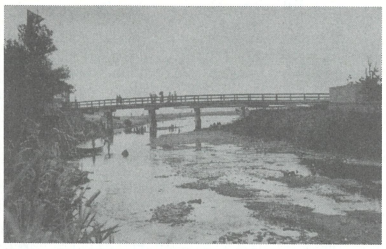
ここは、山でさえぎられ、日があまり当たらなかったので日陰と呼ばれていました。



「妙本寺海岸日陰ノ茶屋」

写真中央に一軒の家が見えます。これは日陰の茶屋と言って、ここを通る人が一服した所です。ここからは鋸山や対岸の富士山も見え、景色のよい場所でしたので、茶屋も繁昌しました。樹齢数百年の大きな松が数本ありますが、国道拡張のため、惜しまれつつも伐採されてしまいました

次は保田橋。風情のある木造りの橋です。昭和十六年に鉄筋コンクリート造りになりました。現在の橋は、昭和四十六年に架け替えられた二代目です。



「保田橋ノ景」

次は保田海岸の海水浴風景です。この写真をよく見て下さい。何かおかしくありませんか？鋸山がずいぶん平たくなっています。これは、鋸山が要塞（ようさい）として軍事施設があったため、写真を加工しているのです。写真の右上に「東京湾要塞司令部許可済」と入っているように、観光絵はがきでも、戦時中は、許可が必要だったのです。この写真が出回っても、戦略拠点の全景を知られないためです。

最後は地曳網（じびきあみ）の風景。大六海岸です。漁師の奥さんたちを中心に網を引く光景は、今では見られなくなりました。

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］



「保田海岸海水浴場」



「地曳網の風景」

生涯学習 みんなで学ぼう

「ウォーキング教室」



暖かな田子台を歩く参加者

3月8日（土）、前日の大雨とは打って変わって雲一つない青空の下「ウォーキング教室」が開催されました。今回は『きょなんまちウォーキングマップ』から源頼朝コース（約9km）に挑戦しました。鋸南町役場をスタートして頼朝上陸記念碑のある竜島海岸から大黒山に登りました。空の青と海の深い緑、そして雪のベールをかぶった雄大な白富士。こんな大パノラマが鋸南町にある事を知って驚く参加者もいました。道端の雑草の中にクコ等の薬草を見つけると、料理法や健康について会話もはずみ、ぬかるんだ道でも愉快になるから不思議です。

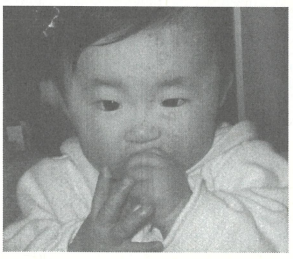
日頃気付かなかった鋸南町の魅力にも触れ、楽しい時間を過ごしました。



竜島海岸白富士を背にして

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



美夢（みゆ）ちゃん（10か月）
〔荒井伸幸さん　第1子　町〕

ミルクのほかにお食事が始まって早半年。ママはすこやかの『離乳食教室』でお勉強してくれたの。その甲斐あって「あっ！というまに食べちゃう。」くらいなの。食べる幸せを文字通り味わってま～す。何でも食べる親孝行娘ですが、最近お菓子のお味も覚えてしまい、はまっちゃいそうです。

桜だより

～苗木への施肥～

桜に限らず苗木の成長には、植栽場所の土壌・日当たり・養分の善し悪しが大きく影響します。ですからチッソ・リンサン・カリ等の植物の成長に不可欠な養分を与えること、つまり施肥は重要な作業です。

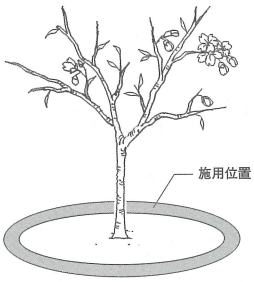
桜の施肥には、時期や目的の違いから寒肥と追肥の2つがありますが、ここでは河津桜の幼木に限定した、簡易な方法を紹介します。というのは早咲きの河津桜は、染井吉野などに比べて施肥の時期が1～2ケ月早いこと、また丁寧に越したことはありませんが、施肥が面倒でおろそかになるより、略式でも実施することが大切だからです。

まず寒肥は、春先、根が活動する前の12月から1月の間に、地力の増進と土壌改良、その年の苗木の成長に備えるために行うもので、粒状固形肥料が手軽でお勧めです。町では衛生組合が製造する土壌改良剤を使用しています。

平地であれば幹から20～30cmの円周上に100g程度をばらまきます。降雨等で流失しやすい傾斜地では、散布せずにやはり20～30cmのところに深さ10cmほどの穴を4ケ所掘り、それぞれ25gほどを入れ、埋め戻すとよいでしょう。

追肥は、苗木に1年間の育成に必要な基礎的な養分を補充するために実施するもので新葉が成長し始める4月から5月にかけて速効性の化成肥料を施します。桜は枝の広がり（樹冠）と根の広がりが一致するとされ、肥料成分を吸収できる根は樹冠下辺りあるので、樹冠の最大直径の内側の地表を軽く耕しながら施肥します。ただし、根を傷つける恐れがある場合は散布するだけでも構いません。

また追肥を行うと雑草の成長を促すので、除草は早めの対応を心掛けましょう。



追肥を施す場所

B&G NEWS

◇温水プール浴の効用　温水により身体の機能が活発となり気分をゆったりさせ健康づくりに役立ちます。

◇新教室案内

◎**ポンポコ歩行教室**　毎週水曜日
10：40～11：30　(歩行で健康づくり)

◎**生き生き貯筋**　毎週土曜日
10：40～11：30　(運動で体力づくり)

《平成15年度　第1期B&G海洋センター水泳教室生徒募集》

当海洋センターでは4月から第1期の水泳教室を開催します。
継続者も新規参加者も大歓迎です。新教室も開催（☆）

◎**幼稚園**
★チャイルドコース
★幼児コース

◎**小学生**
★初級・中級コース

◎**小学生～中学生**
★選手コース
★選手育成コース

◎**高校生以上**
☆ポンポコ歩行コース
☆生き生き貯筋コース
★水中歩行コース
★腰痛改善コース
★レディースコース

※詳細については下記まで連絡下さい。

◇**お問い合わせは**　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411まで

あの子もこの子もきょなんの子

おめでとう

（2月26日から3月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆山野　歩（あゆむ）くん	平成15年3月17日	正人・幸代さん（第3子）	中佐久間	元気に育ってください。ガンバレ

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます

一部希望に添えない場合もあります

◇秘書広報課広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数　3,700世帯（－ 2）「＋ 27」

人口　10,520人　（－20）「－110」
うち男　5,059人　（－11）「－ 42」
女　5,461人　（－ 9）「－ 68」

3月1日現在　（前月比）「前年同月比」

編集後記

4月に入って各地で桜だよりが聞かれるようになってきました。我が鋸南町では2月から河津桜が咲き、私たちの目を楽しませてくれましたが、春うらうらならではの風物詩「花見」はこれからです。計画している方も多いと思いますが、花見につき物のお酒、「飲んだら乗らない・乗るなら飲まない」を守って花見を満喫しましょう。（I）



この用紙は再生紙を使用しています